

AJSAA オフィシャルマニュアル

全般

1. 役務概要

オフィシャルとはスタートの合図からタイム計測・ペナルティ判定など大会運営に関わる様々な仕事をするスタッフのことです。勝敗は勿論安全にも関わる仕事です。マニュアルを確認してスムーズな運営ができるようご協力をお願いします。

2. 競技開始までの動き

(受付) 参加確認・名札の配布を行います。タイムスケジュールを確認し時間内に受付を済ませてください。

(集合) オフィシャル集合の時間に、指定されている場所へ集合すること。集合時間、場所についてはタイムスケジュールを確認してください。

(配置) オフィシャル集合の後、必要な備品を持って配置(スタート前)につきます。競技開始 10 分前には配置につき、5 分前には配置を完了してください。

3. 競技中の仕事

スタート・誘導

コース (ポスト)

ゴール

計時

レスキュー

各配置の役務内容は後述します。

4. 当日の服装、持ち物について

服装は長袖・長ズボンを着用してください。ただし、春季ジムカーナ大会のみ、半そでのシャツを許可いたします。また、後述の信号旗との誤認を防ぐため赤色や黒色の服は避けるようにお願いします。コースフィシャルはワークグローブ (忘れた場合は連盟から借りること)、ヘルメット(恋の浦のものを借りる)の着用。ダートの場合は長靴を推奨。

①スタート・誘導

1. 役務概要

パドック内から競技車両を出走順に呼び出してスタート位置へ誘導する、また、スタート地点において競技車両にスタートの合図を出す仕事です。

2. 備品

無線（誘導は技術無線、スタートはコース無線）

エントラントリスト

パドック図

スタート合図の旗（日章旗）

3. 競技中の仕事

（競技車両の誘導）

競技車両を出走順に呼び出し、スタート地点へ移動させます。概ねゼッケン順に出走しますが、競技中は出走順が変更になることもあります。順番に並んでいない場合はスタートの手前で順番を入れ替えてください。また、スタートに並ばない車両がいる・並んでいる車両にトラブルがあるなどの状況を、本部へ報告してください。

※パドック内の注意

特別規則に基づいて、以下の行為があった場合には注意を行ってください。著しくひどい場合には、本部へ報告してください。

- ・ パドック内でのウォームアップラン、ブレーキテスト
- ・ パドック内での暴走行為。

（スタート前に確認すること）

①スタート位置に車両を停止させます。このとき、スタート位置とはスタートライン上に車体の前端部が来る位置です。旗の枝の部分を使ってラインを合わせてください。

②**スタート前に安全にスタートが出来るかどうか確認してください。**

- ・ グローブ・ヘルメット・長袖をきちんと装着しているか、
- ・ シートベルトを確実に着用しているか
- ・ 窓、ボンネットが全閉されているか

- ・前輪がまっすぐになっているか

(写真挿入予定)

(スタートの合図)

競技車両をスタートさせるタイミングは、すべて本部より指示します。個人の判断で勝手にスタートさせてはいけません。車両衝突事故などの可能性があり大変危険です。

指示があったら、ドライバーにスタートの準備ができているか確認し、よければ旗を振り上げスタートさせてください。

4. 注意点

(光電管について)

スタートおよびゴール地点には、タイム計測に使用する光電管が置いてあります。光電管は前方を通過した物体を感知して作動しますので、**光電管の前を横切ったり、旗などを光電管の前に出したりしないように注意してください。**

また、非常に壊れやすい機械ですので、くれぐれも倒したりしないよう気をつけてください。

②コース（ポスト）

1. 役務概要

コース上のポストについて、競技中、以下の役務を担当します。

- ・ 競技車両のパイロン、脱輪の判定及び記録、報告
- ・ パイロンタッチで動いたパイロンを定位置に修正する
- ・ 競技車両へコース状況ならびにペナルティを知らせる（旗提示）
- ・ 競技車両の事故、故障への救助対応およびコース清掃

2. 備品

旗（グリーン、レッド、ブラック、イエロー）

消火器

ほうき（またはスコップ）

無線（コース無線）

コース図及びエントリーリスト

ペナルティ記録用紙

ペン

3. 競技中の動き

（コースの監視）

競技中、各ポストへの指示は全て本部にいる競技長が行います。勝手な判断で行動しないこと。競技長の指示を聞き漏らさないように、無線には常にスイッチを入れ、不快でない最大の音量に設定して下さい。また、競技車両から目を離さないのはもちろん、コース内の状況が絶えずクリーン（異常なしの状態）であるように監視して下さい。

（選手・本部への旗の提示）

旗の意味は以下。

赤旗・・・危険あり、直ちに停止せよ

黒旗・・・ミスコース・コースアウト

黄旗・・・ペナルティ（パイロンタッチ・脱輪）

緑旗・・・コースクリア（異常なし）

旗の提示方法は、赤旗、黒旗は**走行選手に気づかせることを優先し、大きくはっきり振ってください。**黄旗、緑旗は振らずに**旗の両端をもって大きく広げ、選手ならびに本部にはっきり見えるように提示してください。**

(ペナルティ判定)

走行車両を監視し、脱輪・パイロンタッチといったペナルティのチェックを行います。**別紙のペナルティ基準をよく読んでおいてください。**ペナルティがあった場合、本部に見えるように旗の掲示を行い、無線で「ポスト〇、時間、何号車、ペナルティの内容」を本部に報告してください。ペナルティ一つにつき五秒がタイムに加算されるため勝敗に大きく関わります。正確な判定が行えるようペナルティ基準を確認してください。

(トラブルがあった場合の対応)

別紙のトラブル対応マニュアルをよく読んでおいてください。

ドライバーからリタイヤの意思表示（ハザードランプの点灯、窓から手を上げる）や車両トラブル等があった場合、**まずは本部に報告（ポスト名、号車、トラブル内容）し、競技長の指示で赤旗を振り後続車両を止めてください。**後続の走行車両がないことを確認したのち停止車両に近づき、車両およびドライバーの状態を確認し、本部へ「ポスト〇、何号車、トラブル内容」を知らせます。車両の状況を聞き、自走が困難と判断したら本部へ救急車両の派遣を要請してください。自走に支障がなければコース外へ移動させてください。**転倒があった場合のみ、直ちに赤旗を掲示し後続車両を止めて、後続の走行車両がないことを確認してから停止車両に近づき、車両の状態を本部に報告します。**各トラブルへの対応の詳細はトラブル対応マニュアルを参照してください。**競技長の指示に必ず従い、勝手な判断でコース内に立ち入らないこと。**

4. 注意点

各ポストは2～5名で構成されます。ポスト内での役割は下記のとおり。

- ・無線・ペナルティ記録担当（ポスト長）
- ・旗担当
- ・パイロン修正、コース落下物回収担当

パイロンの接触・転倒・移動があった場合は、パイロンの位置を修正する必要があります。また車両からの落下物などで走行に支障が出る場合は清掃の必要があります。

競技車両が通過しないことを十分確認した上で、安全を確認し全速力で修正に向かってください。

5. そのほか

オフィシャルや、コース、競技車両に何か異常があれば、すぐに競技長へ報告し、指示を仰ぐこと。

特別規則に規定されている通り、コースオフィシャルへの抗議は一切認めていません。運営を行っている際に、抗議に応じる必要は一切ありません。そのようなことがあった場合は、本部へ申し出るように伝えてください。

③ゴール

1. 役務概要

ゴール地点において、競技車両にゴールの合図を出す仕事です。

2. 備品

チェッカーフラッグ

無線（コース無線）

3. 競技中の動き

（ゴールの合図）

車両がゴールラインを横切ったら、チェッカーフラッグを振ってゴールの合図をしてください。旗の振り方は8の字を書くように振るのが基本です。

※このとき、ミスコースした車両や走行中赤旗によって走行が中止された車両など、完走扱いとならない車両については旗を振らないでください。

4. 注意点

（光電管について）

ゴール地点には、タイム計測に使用する光電管が置いてあります。光電管は前方を通過した物体を感知して作動しますので、誤って光電管の前を横切ったり、旗などを光電管の前に出したりしないように注意してください。

また、非常に壊れやすい機械ですので、くれぐれも倒したりしないよう気をつけてください。

④計時

1. 役務概要

競技中のタイム計測は、基本的に光電管を使用して行います。ただし、光電管はまれに誤作動・故障を起こす場合があります。それに備えて手動によるタイム計測を行う仕事です。

2. 備品

記録用紙（パソコン）

ストップウォッチ

ペン

エントラントリスト

3. 競技中の動き

指示は本部で光電管を操作している計時委員長から出します。出走全車両に対し、競技車両がスタート（車体がスタートラインを通過）したら計測を開始し、ゴール（車体がゴールラインを通過）したら計測を終了してください。計測時間を記録用紙（パソコン）に記入してください。

⑤レスキュー

1. 役務概要

競技車両がトラブルにより停車・自走不可となった場合、競技車を牽引し、パドックまで運ぶ仕事です。

2. 備品

無線（コース無線）

エントリーリスト

パドック図

コース図

3. 競技中の動き

競技中、レスキューへの指示は全て本部にいる競技長が行います。その指示を聞き漏らさないように、無線には常にスイッチを入れ、不快でない最大の音量に設定して下さい。

4. 故障、停止車両への対処

レスキューの出動については、競技長が指示しますので、絶対に個人的な判断では出動しないでください。レスキュー要請が出たら、速やかにレスキュー車を競技車両まで移動させてください。現場到着時にはポストオフィシャルが待機しているはずなので、協力して牽引準備をお願いします。

牽引の際はレスキューカーと競技車を牽引ロープでつなぎ、安全にコース外へ出してください。

- ・ あまり牽引ロープに急激な負荷をかけないよう、慎重に運転すること。
- ・ 出来るだけ競技車両の前側に牽引ロープをかけること。

以上に気を付け、パドックまで牽引をお願いします。